

# 巻頭言

泌尿器科医とともに排尿機能検査に携わるコメディカルスタッフを対象とした排尿機能検査士制度が2004年に発足してから、第1回講習会（第17回老年泌尿器科学会，金沢，2004年5月29日），第2回講習会（第18回日本老年泌尿器科学会，盛岡，2005年5月7日），第3回講習会（第19回日本老年泌尿器科学会，東京，2006年6月9日）の計3回の講習会が行われ，それぞれ，102名，117名，194名の方が受講されました。排尿機能検査士認定者については，2005年，2006年にそれぞれ，52名，58名が誕生し，排尿機能検査の日本国内での標準化を進める推進力となることが期待されるところです。

今回，この「実践研修 排尿機能検査」を単行本として刊行し市販することとした理由は，過去3回の講習会で使用し，受講者から好評であった「排尿機能検査士講習会テキスト」の残りがなくなり，新たな作成が必要となったことから，この機会に単行本として販売することにより，講習会の受講者のみならず，多くのコメディカルの方々に読んでもらうことを狙いとしたからです。「排尿機能検査士講習会テキスト」と同様に，後藤百万先生と武井実根雄先生に内容をアップデートして執筆していただきました。感謝の意を表します。

排尿機能の評価の際に症状質問票や排尿日誌の有用性が重要視される中で，尿流動態検査，とくに，膀胱内圧測定の比重は軽くなっているものの，排尿筋収縮能や尿道閉塞度の評価が必要な患者においては，膀胱内圧測定は必須の検査です。

本書が排尿機能検査に関心をもつコメディカルの方々に役立つことを確信いたしますとともに，2007年以降から，日本泌尿器科学会，日本排尿機能学会，日本老年泌尿器科学会の3学会が共同で取り組むこととなった排尿機能検査士制度の今後の益々の発展と充実を祈っております。

2007年4月

日本泌尿器科学会 理事長 奥山 明彦  
日本排尿機能学会 理事長 西澤 理  
日本老年泌尿器科学会 理事長 北村 唯一  
排尿機能検査士制度委員会 委員長 内藤 誠二